

1 システム科学技術研究科

(1) 博士前期課程

(i) 総合システム工学専攻 (令和7年度入学者)

種類	コース等	ナンバリングコード	授業科目	教職課程 の教科	単位	週時 間数	開講セ メスター	身につく能力					必修選択区分 ・単位数		修了に必要な 区分別単位数	
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	必修	選択		
共通基礎 ・学際科目		CUL-3L-501	プレゼンテーション		2	2	2	○	○	○	○			2	選択科目 6単位以上	
		ENG-3L-501	実践英語A		2	2	1			○		○		2		
		ENG-3L-502	英語プレゼンテーションA		2	2	2		○	○		○		2		
		LIT-3L-501	風土・文化構造論※		2	2	1,3			○				2		
		PHI-3L-501	科学技術と倫理※		2	2	1,3			○				2		
		PSY-3L-501	感性情報と環境の心理※		2	2	1,3			○	○			2		
		SOC-3L-501	地域社会と家族※		2	2	2,4			○				2		
		HPE-3L-501	生体情報と運動の生理※		2	2	1,3			○				2		
		SPE-3L-501	知的所有権論A		2	2	1		○	○				2		
		SPE-3L-502	標準化論A	工業	2	2	2		○			○		2		
		GEE-3L-501	信頼性工学A	工業	2	2	1	○		○				2		
		GEE-3L-502	工学的失敗論A	工業	2	2	2				○	○		2		
		SPE-3L-503	実践インターンシップ		2	2	1,2,3,4				○	○				実践インターンシ ップは自由単位。
		SPE-3L-504	現役社長の講話		2	2	2		○			○		2		
	SSS-3L-501	リスク管理エンジニアリング		2	2	1	○		○				2			
修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数												6	合計 6単位			
専門科目	コース共通	EXP-3S-501	総合システム工学専門セミナー		4	4	1,2	○	○	○	○	○	4	必修科目 12単位 選択科目 12単位以上		
		EXP-3S-502	総合システム工学特別研究		8		1,2,3,4	○	○	○	○	○	8			
		EXP-3S-503	地域志向プロジェクト		2	2	1				○	○			2	
		MEE-3S-501	輸送機械特論		2	2	1	○	○						2	
		MEE-3S-502	輸送機械特別研修I		1	1	1,2								1	
		MEE-3S-503	輸送機械特別研修II		1	1	1,2								1	
		FRS-3S-501	木質資源循環論※		2	2	1,3	○				○			2	
		AGE-3S-501	スマート農業		2	2	1		○			○			2	
		BIN-3S-501	データ駆動型社会論	情報	2	2	1	○		○					2	
		GEE-3S-501	再生可能エネルギー特論		2	2	1								2	
	GEE-3S-505	3Dエンジニアリング		2	2	1			○				2			
	機械工学コース	MEE-3S-504	固体力学	工業	2	2	1	○	○						2	
		MAE-3S-501	ナノ材料学	工業	2	2	1	○	○						2	
		MEE-3S-505	機械力学特論	工業	2	2	2	○	○						2	
		MAE-3S-502	先端材料強度特論	工業	2	2	2	○			○				2	
		MEE-3S-506	熱工学特論	工業	2	2	1	○	○						2	
		COS-3S-501	計算力学特論	工業	2	2	1	○	○						2	
		MEE-3S-507	流体力学特論	工業	2	2	1	○	○						2	
		MEE-3S-508	燃烧工学	工業	2	2	2	○	○	○					2	
		MEE-3S-509	三次元CAD運用論	工業	2	2	1	○	○						2	
		MEE-3S-510	機械構成論	工業	2	2	1	○	○						2	
		COS-3S-502	高度数値シミュレーション学	情報	2	2	1	○	○						2	
		PLS-3S-501	プラズマ工学	工業	2	2	2	○	○						2	
		MEE-3S-511	人間機械系設計論	工業	2	2	2		○	○					2	
	MEE-3S-512	エネルギーシステム学特論	工業	2	2	2	○		○				2			
	MEE-3S-513	先端加工学	工業	2	2	2	○	○					2			
	知能メカトロニクス コース	PLS-3S-502	プラズマ物理学	工業	2	2	1	○	○						2	
		EEE-3S-501	計測学特論	工業	2	2	1	○	○		○				2	
		EEE-3S-502	通信システム特論	情報	2	2	2	○	○		○				2	
		GEE-3S-503	エネルギー変換工学特論	工業	2	2	2	○	○						2	
		EEE-3S-503	光機能デバイス工学	工業	2	2	1	○	○		○				2	
		EEE-3S-504	固体物性工学特論	工業	2	2	1	○	○						2	
		EEE-3S-505	半導体材料・プロセス工学	工業	2	2	2	○	○		○				2	
		EEE-3S-506	電子デバイス工学特論	工業	2	2	2	○	○			○			2	
		MEE-3S-514	ロボット工学特論	工業	2	2	1	○	○			○			2	
		MEE-3S-515	メカトロニクス特論	工業	2	2	2	○	○	○					2	
	MEE-3S-516	バイオエンジニアリング特論	工業	2	2	2	○	○	○				2			
	MEE-3S-517	機械知能学特論	情報	2	2	2	○	○	○				2			
	情報工学コース	HIS-3S-501	画像情報学特論	情報	2	2	1	○	○						2	
		BCA-3S-501	情報数理論	情報	2	2	1	○	○						2	
		BCA-3S-502	自然言語処理	情報	2	2	1	○		○	○	○			2	
		BCA-3S-503	情報セキュリティ	情報	2	2	2	○	○			○			2	

種類	コース等	ナンバリングコード	授業科目	教職課程 の教科	単位	週時 間数	開講セ メスター	身につく能力					必修選択区分 ・単位数		修了に必要な 区分別単位数	
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	必修	選択		
情報工学コース	情報工学コース	BCA-3S-504	数値解析学特論	情報	2	2	2	○	○					2		
		EEE-3S-507	デジタル信号処理特論	情報	2	2	2	○	○	○				2		
		HIS-3S-503	音信号処理特論	情報	2	2	2	○	○	○		○		2		
		HIS-3S-504	パターン認識特論	情報	2	2	2	○	○	○				2		
		HIS-3S-505	統計的信号処理	情報	2	2	1	○	○					2		
		ISF-3S-501	問題解決のためのデザイン思考		2	2	2	○	○		○	○		2		
	建築学コース	建築学コース	ARC-3S-501	建築塑性論	工業	2	2	1	○	○						2
			ARC-3S-502	建築構造解析論	工業	2	2	1	○	○						2
			ARC-3S-503	建築荷重論	工業	2	2	1	○	○						2
			ARC-3S-504	建築構造設計論	工業	2	2	2	○			○				2
			ARC-3S-505	建築基礎構造論	工業	2	2	2	○	○						2
			ARC-3S-506	建築振動論	工業	2	2	2	○	○						2
			ARC-3S-507	建築材料工学	工業	2	2	1	○	○						2
			ARC-3S-508	木質構造設計実習		2	2	2	○			○				2
			ARC-3S-509	木質構造設計論	工業	2	2	2	○	○						2
			ARC-3S-510	木質構造実習		2	2	1	○	○	○					2
			ARC-3S-511	視環境・色彩計画学	工業	2	2	1	○	○						2
			ARC-3S-512	建築設備設計論		2	2	1	○				○			2
			ARC-3S-513	建築環境設計論	工業	2	2	2	○	○						2
			ARC-3S-514	都市環境論	工業	2	2	2	○	○						2
			ARC-3S-516	都市防災学	工業	2	2	1	○	○						2
			ARC-3S-517	都市・建築設計論	工業	2	2	2		○		○	○			2
			ARC-3S-518	都市・建築再生論		2	2	1		○						2
			EXP-3S-504	都市・建築設計(演習)A		2	2	1,2,3,4				○	○			2
			EXP-3S-505	都市・建築設計(演習)B		2	2	2,3,4				○	○			2
			EXP-3S-506	都市・建築設計(演習)C		2	2	3,4				○	○			2
			EXP-3S-507	建築インターンシップ研修A		2	2	1,2,3,4	○	○	○					2
			EXP-3S-508	建築インターンシップ研修B		2	2	1,2,3,4	○	○	○					2
			EXP-3S-509	建築インターンシップ研修C		2	2	1,2,3,4	○	○	○					2
			EXP-3S-510	建築インターンシップ研修D		2	2	1,2,3,4	○	○	○					2
	EXP-3S-511	建築インターンシップ研修E		2	2	1,2,3,4	○	○	○				2			
	EXP-3S-512	建築インターンシップ研修F		2	2	1,2,3,4	○	○	○				2			
	EXP-3S-513	建築インターンシップ研修G		2	2	1,2,3,4	○	○	○				2			
	EXP-3S-514	建築プロジェクト実習		2	2	1,2,3,4				○	○		2			
	経営システム工学 コース	経営システム工学 コース	BUS-3S-501	会計システム論	工業	2	2	2		○	○			2		
			BCA-3S-505	応用情報処理特論	工業	2	2	2	○	○				2		
			SSS-3S-501	経営情報システム特論	工業	2	2	1	○	○				2		
			MAT-3S-501	数理最適化特論	情報	2	2	1	○	○				2		
			MAT-3S-502	応用確率統計特論	工業	2	2	1	○					2		
			MAT-3S-503	経営数理理解特論	工業	2	2	1	○					2		
			SSS-3S-502	実践経営工学	工業	2	2	1			○		○			2
			ECO-3S-501	経営経済学	工業	2	2	1				○	○			2
			BCA-3S-506	システム構築論	情報	2	2	1	○							2
			SSS-3S-503	環境型生産管理論	工業	2	2	2		○		○	○			2
			EAE-3S-501	環境リスク管理技術特論	工業	2	2	1	○	○	○		○			2
			CCS-3S-501	ライフサイクルデザイン製品技術論		2	2	2	○	○	○					2
			ENP-3S-501	ライフサイクルアセスメント	工業	2	2	1	○	○	○		○			2
			修了に必要な専門科目の単位数											12		12
	修了に必要な単位数の合計											12	18	総合計 30単位		

備考 1 修了要件:

修了単位は、30単位以上とする。

共通基礎・学際科目から6単位以上、専門科目から必修12単位を含む24単位以上を修得し、

うち10単位以上は所属するコースの専門選択科目から修得すること。

また、2単位以上を所属コース以外の専門選択科目(コース共通、他コース選択、他専攻、他研究科含む)から修得し、

かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。

2 「実践インターンシップ」は自由単位のため、修了要件には含まれない。

3 「都市・建築設計(演習)A、B、C」については、A(B)を修得しなければB(C)を履修できない。

4 「建築インターンシップ研修A、B、C、D、E、F、G」については、左記の順に履修すること。ただし、同一セメスターでの重複履修を認める。

5 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。



(ii) 共同サステナブル工学専攻 (令和7年度入学者)

種類	コース等	ナンバリングコード	授業科目	教職課程 の教科	単位	週時 間数	開講セ メスター	必修選択区分 ・単位数		備考	
								必修	選択		
共通科目	共通科目A (外国語等科目)	ENG-3L-501	実践英語A		2	2	1		2	秋田県立大学	
		ENG-3L-502	英語プレゼンテーションA		2	2	2		2	秋田県立大学	
		ENG-3L-503	Presentation Method		1	1	1		1	秋田大学	
		ENG-3L-504	理工学英語		1	1	1		1	秋田大学	
		ENG-3L-505	Talking about Science in English		1	1	1		1	秋田大学	
		ENG-3L-506	Current Topics in Science and Engineering		1	1	2		1	秋田大学	
	共通科目A (倫理等科目)	PHI-3L-501	科学技術と倫理※		2	2	1.3		2	秋田県立大学	
		PHI-3L-502	科学技術者倫理特論		1	1	1		1	秋田大学	
		GEE-3L-502	工学的失敗論A	工業	2	2	2		2	秋田県立大学	
	共通科目B	SPE-3L-501	知的所有権論A		2	2	1		2	秋田県立大学	
		SPE-3L-502	標準化論A	工業	2	2	2		2	秋田県立大学	
		GEE-3L-501	信頼性工学A	工業	2	2	1		2	秋田県立大学	
		CUL-3L-501	プレゼンテーション		2	2	2		2	秋田県立大学	
		SPE-3L-505	インターンシップ I		1	1	1		1	秋田大学	
		SPE-3L-506	インターンシップ II		2	2	3		2	秋田大学	
		SPE-3L-507	理工学特論 I		1	1	1		1	秋田大学	
		SPE-3L-508	理工学特論 II		1	1	1		1	秋田大学	
	専門科目	専攻共通	ENE-3S-502	サステナブル工学概論		1	1	1	1		秋田大学
ECO-3S-501			経営経済学	工業	2	2	1		2	秋田県立大学	
SSS-3S-502			実践経営工学	工業	2	2	1	2		秋田県立大学	
BCA-3S-506			システム構築論		2	2	1		2	秋田県立大学	
BUS-3S-502			地域産業論		2	2	2		2	秋田大学	
EAE-3S-501			環境リスク管理技術特論	工業	2	2	1		2	秋田県立大学	
MEE-3S-519			スマートエネルギー情報工学		1	1	2		1	秋田大学	
EEE-3S-502			通信システム特論		2	2	2		2	秋田県立大学	
EXP-3S-516			サステナブル工学セミナー		2	2	1.2	2		秋田大学・秋田県立大学	
EXP-3S-517			サステナブル工学特別研究		10		1.2,3,4	10		秋田大学・秋田県立大学	
GEE-3S-505			3Dエンジニアリング		2	2	1		2	秋田県立大学	
エレクトロモビリティ コース (輸送・機械システム)			GEE-3S-505	航空システム工学概論		1	1	1		1	秋田大学
			GEE-3S-506	航空システム工学実践論		1	1	1		1	秋田大学
		GEE-3S-507	Aero-Space Engineering I		1	1	2		1	秋田大学	
		GEE-3S-508	Aero-Space Engineering II		1	1	2		1	秋田大学	
		GEE-3S-509	航空機構造力学		2	2	2		2	秋田大学	
		GEE-3S-510	航空システム制御工学特論		2	2	2		2	秋田大学	
		MEE-3S-523	航空流体工学特論		2	2	2		2	秋田大学	
		MEE-3S-514	ロボット工学特論	工業	2	2	1		2	秋田県立大学	
		EEE-3S-508	電気自動車システム工学		1	1	1		1	秋田大学	
		MEE-3S-502	輸送機械特別研修I		1	1	1		1	秋田県立大学	
		MEE-3S-503	輸送機械特別研修II		1	1	1		1	秋田県立大学	
エレクトロモビリティ コース (要素技術)		EEE-3S-509	電磁エネルギー変換工学	工業	2	2	1		2	秋田大学	
		GEE-3S-503	エネルギー変換工学特論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学	
		EEE-3S-510	アドバンスト制御工学 I	工業	1	1	2		1	秋田大学	
		EEE-3S-511	アドバンスト制御工学 II	工業	1	1	2		1	秋田大学	
		EEE-3S-512	数値熱流体力学	工業	2	2	1		2	秋田大学	
		MEE-3S-509	三次元CAD運用論	工業	2	2	1		2	秋田県立大学	
		MEE-3S-518	熱流体エネルギー工学特論	工業	2	2	1		2	秋田大学	
		MEE-3S-511	人間機械系設計論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学	
		MAE-3S-501	ナノ材料学	工業	2	2	1		2	秋田県立大学	
		MEE-3S-520	先端力学計測	工業	2	2	1		2	秋田大学	
		EEE-3S-513	電気機器モデル学特論 I	工業	1	1	1		1	秋田大学	
		EEE-3S-514	電気機器モデル学特論 II	工業	1	1	1		1	秋田大学	
		MEE-3S-515	メカトロニクス特論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学	
		MEE-3S-521	IDCAE特論		2	2	1		2	秋田大学	
		MEE-3S-522	モデルベース開発実践論		1	1	2		1	秋田大学	

種類	コース等	ナンバリングコード	授業科目	教職課程 の教科	単位	週時 間数	開講セ メスター	必修選択区分 ・単位数		修了に必要な 区分別単位数		
								必修	選択			
社会環境システム コース (環境配慮設計)		ENP-3S-502	ライフサイクルデザイン工学基礎	工業	2	2	1		2	秋田大学		
		ENP-3S-501	ライフサイクルアセスメント	工業	2	2	1		2	秋田県立大学		
		SSS-3S-503	環境型生産管理論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学		
		CCS-3S-501	ライフサイクルデザイン製品技術論		2	2	2		2	秋田県立大学		
		SPE-3L-509	資源リサイクル論		1	1	1		1	秋田大学		
		PLS-3S-501	プラズマ工学	工業	2	2	2		2	秋田県立大学		
		ENP-3S-503	高温物性学		2	2	1		2	秋田大学		
		ENP-3S-504	地球環境分析科学		2	2	2		2	秋田大学		
		PCE-3S-501	化学プロセスデザイン学		2	2	2		2	秋田大学		
		MAE-3S-503	分子計算材料学 I		1	1	1		1	秋田大学		
		MAE-3S-504	分子計算材料学 II		1	1	1		1	秋田大学		
		ARC-3S-514	都市環境論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学		
		CIE-3S-501	都市システム計画特論	工業	2		1		2	秋田大学		
		社会環境システム コース (再生可能エネルギー)		ENE-3S-503	環境・エネルギー工学	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
				ENE-3S-504	風車工学		2	2	1		2	秋田県立大学
				HAS-3S-501	漁業共生・ステークホルダマネジメント		2	2	1		2	秋田大学
				ENE-3S-505	地域エネルギーシステム特論	工業	2	2	2		2	秋田大学
				EEE-3S-504	固体物性工学特論	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
				ENE-3S-506	新エネルギー利用論 I		1	1	1		1	秋田大学
				ENE-3S-507	新エネルギー利用論 II		1	1	1		1	秋田大学
修了に必要な単位数の合計								15	15	総合計 30単位		

備考 1 修了要件:

必修科目15単位、選択科目15単位以上の合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び試験に合格すること。なお、選択科目の修得については次のとおりとする。

- ① 共通科目Aの外国語等科目又は専門科目の「Aero-Space Engineering I」・「Aero-Space Engineering II」から1単位以上修得すること。
 - ② 共通科目Aの倫理等科目から1単位以上修得すること。
 - ③ エレクトロモビリティコースの学生は、エレクトロモビリティコースの科目から4単位以上を修得すること。
ただし、共通科目Aの外国語等科目として「Aero-Space Engineering I」・「Aero-Space Engineering II」を修得した場合、同科目の修得単位はこの要件の対象から除く。
 - ④ 社会環境システムコースの学生は、社会環境システムコースの科目から4単位以上を修得すること。
 - ⑤ 秋田大学と秋田県立大学の開設科目からそれぞれ10単位以上を修得すること。
ただし、「サステナブル工学セミナー」・「サステナブル工学特別研究」については、秋田県立大学の開設科目とすること。
- 2 修了要件の30単位に、両大学院の他専攻で修得した科目を4単位まで含めることができる。
 - 3 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。



(2) 博士後期課程

(i) 総合システム科学専攻 (令和7年度入学者)

種類	ナンバリングコード	授業科目	単位	週時間数	開講セメスター	必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数		
						必修	選択			
共通基盤 科目	BUS-3L-601	ベンチャービジネス特論	2	2	1		2	選択科目 4単位以上		
	BUS-3L-602	ベンチャー企業論	2	2	1		2			
	ENG-3L-601	実践英語B	2	2	1		2			
	ENG-3L-602	英語プレゼンテーションB	2	2	2		2			
	SPE-3L-601	知的所有権論B	2	2	1		2			
	SPE-3L-602	標準化論B	2	2	2		2			
	GEE-3L-601	信頼性工学B	2	2	1		2			
	GEE-3L-602	工学的失敗論B	2	2	2		2			
	SPE-3L-603	総合システム科学特別講義	2	2	1,2,3,4,5,6		2			
	EXP-3L-601	総合システム科学特別研修	2	2	1,2,3,4,5,6		2			
修了に必要な共通基盤科目の単位数							4	合計 4単位		
学際専門 科目	GEE-3S-601	システム設計論 I	2	2	2		2	必修科目 8単位 選択科目 4単位以上		
	GEE-3S-602	システム設計論 II (持続可能社会システム)	2	2	1		2			
	EXP-3S-601	システム設計演習(防災システム)	2	2	2		2			
	EXP-3S-602	システム設計演習(高齢化社会対応システム)	2	2	2		2			
	EXP-3S-603	システム設計演習(生態系システムデザイン)	2	2	2		2			
	COS-3S-601	システムシミュレーション	2	2	2		2			
	MAE-3S-601	材料構造システム論	2	2	1		2			
	MEE-3S-601	熱流体知能化システム論	2	2	1		2			
	MEE-3S-602	生体知能化システム論	2	2	1		2			
	EEE-3S-601	電子システム論	2	2	3		2			
	BCA-3S-601	情報システム論	2	2	4		2			
	EEE-3S-602	電子デバイスシステム論	2	2	3		2			
	ARC-3S-601	建築環境計画論	2	2	1		2			
	ARC-3S-602	建築構造構成論	2	2	1		2			
	ARC-3S-603	都市環境制御論	2	2	1		2			
	SSS-3S-601	システムマネジメント論	2	2	1		2			
	GEE-3S-603	資源環境システム論	2	2	1		2			
	EXP-3S-604	博士論文特別研究	8		1,2,3,4,5,6		8			
	修了に必要な専門科目の単位数								8	合計 12単位
	修了に必要な単位数の合計								8	8

備考 修了要件:

修了単位は、16単位以上とする。

共通基盤科目は、選択科目4単位以上を修得。

専門科目は、必修科目8単位を含む12単位以上を修得。

ただし、大学院学則第36条ただし書きに規定する、研究科教授会において、優れた業績を上げた者と認められた者については、研究科が別に定めることができる。

別表第1

1 システム科学技術研究所

(1) 博士前期課程

(i) 総合システム工学専攻 (令和6年度入学者)

種類	コース等	ナンバリングコード	授業科目	教職課程 の教科	単位	週時 間数	開講セ メスター	身につく能力					必修選択区分 ・単位数		修了に必要な 区分別単位数
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	必修	選択	
共通基礎 ・学際科目		CUL-3L-501	プレゼンテーション		2	2	2	○	○	○	○			2	選択科目 6単位以上
		ENG-3L-501	実践英語A		2	2	1			○	○			2	
		ENG-3L-502	英語プレゼンテーションA		2	2	2		○	○	○			2	
		LIT-3L-501	風土・文化構造論※		2	2	1.3			○				2	
		PHI-3L-501	科学技術と倫理※		2	2	1.3			○				2	
		PSY-3L-501	感性情報と環境の心理※		2	2	2.4			○				2	
		SOC-3L-501	地域社会と家族※		2	2	2.4			○				2	
		HPE-3L-501	生体情報と運動の生理※		2	2	2.4			○				2	
		SPE-3L-501	知的所有権論A		2	2	1		○	○				2	
		SPE-3L-502	標準化論A	工業	2	2	2		○			○		2	
		GEE-3L-501	信頼性工学A	工業	2	2	1	○		○				2	
		GEE-3L-502	工学的失敗論A	工業	2	2	2			○	○			2	
		SPE-3L-503	インターンシップ		2	2	1,2,3,4				○	○		2	
		SPE-3L-504	現役社長の講話		2	2	2		○			○		2	
	SSS-3L-501	リスク管理エンジニアリング		2	2	1	○		○				2		
修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数												6	合計 6単位		
専門科目	コース共通	EXP-3S-501	総合システム工学専門セミナー		4	4	1,2	○	○	○	○	○	4	必修科目 12単位	
		EXP-3S-502	総合システム工学特別研究		8		1,2,3,4	○	○	○	○	○	8		
		EXP-3S-503	地域志向プロジェクト		2	2	1				○	○			2
		MEE-3S-501	輸送機械特論		2	2	1	○	○						2
		MEE-3S-502	輸送機械特別研修I		1	1	1,2								1
		MEE-3S-503	輸送機械特別研修II		1	1	1,2								1
		FRS-3S-501	木質資源循環論※		2	2	1,3	○					○		2
		AGE-3S-501	スマート農業		2	2	1		○				○		2
		BIN-3S-501	データ駆動型社会論	情報	2	2	1	○		○					2
	GEE-3S-501	再生可能エネルギー特論		2	2	1							2	選択科目 12単位以上	
	機械工学コース	MEE-3S-504	固体力学	工業	2	2	1	○	○						2
		MAE-3S-501	ナノ材料学	工業	2	2	1	○	○						2
		MEE-3S-505	機械力学特論	工業	2	2	2	○	○						2
		MAE-3S-502	先端材料強度特論	工業	2	2	2	○			○				2
		MEE-3S-506	熱工学特論	工業	2	2	1	○	○						2
		COS-3S-501	計算力学特論	工業	2	2	1	○	○						2
		MEE-3S-507	流体力学特論	工業	2	2	1	○	○						2
		MEE-3S-508	燃焼工学	工業	2	2	2	○	○	○					2
		MEE-3S-509	三次元CAD運用論	工業	2	2	1	○	○					2	
		MEE-3S-510	機械構成論	工業	2	2	1	○	○					2	
		COS-3S-502	高度数値シミュレーション学	情報	2	2	1	○	○					2	
		PLS-3S-501	プラズマ工学	工業	2	2	2	○	○					2	
		MEE-3S-511	人間機械系設計論	工業	2	2	2		○	○				2	
	MEE-3S-512	エネルギーシステム学特論	工業	2	2	2	○		○				2		
	MEE-3S-513	先端加工学	工業	2	2	2	○	○					2		
	知能メカトロニクス コース	PLS-3S-502	プラズマ物理学	工業	2	2	1	○	○					2	
		EEE-3S-501	計測学特論	工業	2	2	1	○	○		○			2	
		MAT-3S-501	数理最適化特論	情報	2	2	1	○	○					2	
		EEE-3S-502	通信システム特論	情報	2	2	2	○	○		○			2	
		GEE-3S-503	エネルギー変換工学特論	工業	2	2	2	○	○	○				2	
		EEE-3S-503	光機能デバイス工学	工業	2	2	1	○	○		○			2	
		EEE-3S-504	固体物性工学特論	工業	2	2	1	○	○					2	
		EEE-3S-505	半導体材料・プロセス工学	工業	2	2	2	○	○		○			2	
		EEE-3S-506	電子デバイス工学特論	工業	2	2	2	○	○			○		2	
		MEE-3S-514	ロボット工学特論	工業	2	2	1	○	○			○		2	
		GEE-3S-504	制御工学特論	工業	2	2	1	○	○					2	
		MEE-3S-515	メカトロニクス特論	工業	2	2	2	○	○	○				2	
		MEE-3S-516	バイオエンジニアリング特論	工業	2	2	2	○	○	○				2	
		MEE-3S-517	機械知能学特論	情報	2	2	2	○	○	○				2	
	情報工学コース	HIS-3S-501	画像情報学特論	情報	2	2	1	○	○					2	
		BCA-3S-501	情報数理論	情報	2	2	1	○	○					2	
		BCA-3S-502	自然言語処理	情報	2	2	1	○		○	○	○		2	
BCA-3S-503		情報ネットワーク特論	情報	2	2	2	○	○			○		2		

種類	コース等	ナンバリングコード	授業科目	教職課程 の教科	単位	週時 間数	開講セ メスター	身につく能力					必修選択区分 ・単位数		修了に必要な 区分別単位数		
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	必修	選択			
情報工学コース	情報工学コース	BCA-3S-504	数値解析学特論	情報	2	2	2	○	○						2		
		EEE-3S-507	デジタル信号処理特論	情報	2	2	2	○	○	○					2		
		HIS-3S-503	音信号処理特論	情報	2	2	2	○	○	○		○			2		
		HIS-3S-504	パターン認識特論	情報	2	2	2	○	○	○					2		
		HIS-3S-505	統計的信号処理	情報	2	2	1	○	○						2		
	ISF-3S-501	問題解決のためのデザイン思考		2	2	2	○	○		○	○			2			
	建築学コース	建築学コース	ARC-3S-501	建築塑性論	工業	2	2	1	○	○					2		
			ARC-3S-502	建築構造解析論	工業	2	2	1	○	○					2		
			ARC-3S-503	建築荷重論	工業	2	2	1	○	○					2		
			ARC-3S-504	建築構造設計論	工業	2	2	2	○			○			2		
			ARC-3S-505	建築基礎構造論	工業	2	2	2	○	○					2		
			ARC-3S-506	建築振動論	工業	2	2	2	○	○					2		
			ARC-3S-507	建築材料工学	工業	2	2	1	○	○					2		
			ARC-3S-508	木質構造設計実習		2	2	2	○			○			2		
			ARC-3S-509	木質構造設計論	工業	2	2	2	○	○					2		
			ARC-3S-510	木質構造実習		2	2	1	○	○	○				2		
			ARC-3S-511	視環境・色彩計画学	工業	2	2	1	○	○					2		
			ARC-3S-512	建築設備設計論		2	2	1	○				○		2		
			ARC-3S-513	建築環境設計論	工業	2	2	2	○	○					2		
			ARC-3S-514	都市環境論	工業	2	2	2	○	○					2		
			ARC-3S-515	都市計画学	工業	2	2	1	○						2		
			ARC-3S-516	都市防災学	工業	2	2	1	○	○					2		
			ARC-3S-517	都市・建築設計論	工業	2	2	2		○		○	○		2		
			ARC-3S-518	都市・建築史論		2	2	1		○					2		
			EXP-3S-504	都市・建築設計(演習)A		2	2	1,2,3,4					○	○		2	
			EXP-3S-505	都市・建築設計(演習)B		2	2	2,3,4					○	○		2	
			EXP-3S-506	都市・建築設計(演習)C		2	2	3,4					○	○		2	
			EXP-3S-507	建築インターンシップ研修A		2	2	1,2,3,4	○	○	○					2	
			EXP-3S-508	建築インターンシップ研修B		2	2	1,2,3,4	○	○	○					2	
			EXP-3S-509	建築インターンシップ研修C		2	2	1,2,3,4	○	○	○					2	
	EXP-3S-510	建築インターンシップ研修D		2	2	1,2,3,4	○	○	○					2			
	EXP-3S-511	建築インターンシップ研修E		2	2	1,2,3,4	○	○	○					2			
	EXP-3S-512	建築インターンシップ研修F		2	2	1,2,3,4	○	○	○					2			
	EXP-3S-513	建築インターンシップ研修G		2	2	1,2,3,4	○	○	○					2			
	EXP-3S-514	建築プロジェクト実習		2	2	1,2,3,4					○	○		2			
	経営システム工学 コース	経営システム工学 コース	BUS-3S-501	会計システム論	工業	2	2	2		○	○				2		
			BCA-3S-505	応用情報処理特論	工業	2	2	2	○	○					2		
			SSS-3S-501	経営情報システム特論	工業	2	2	1	○	○					2		
			MAT-3S-501	数理最適化特論	情報	2	2	1	○	○					2		
			MAT-3S-502	応用確率統計特論	工業	2	2	1	○						2		
			MAT-3S-503	経営数理解析特論	工業	2	2	1	○						2		
			SSS-3S-502	実践経営工学	工業	2	2	1				○	○		2		
			ECO-3S-501	経営経済学	工業	2	2	1				○	○		2		
			BCA-3S-506	システム構築論	情報	2	2	1	○						2		
			SSS-3S-503	環境型生産管理論	工業	2	2	2		○		○	○		2		
			EAE-3S-501	環境リスク管理技術特論	工業	2	2	1	○	○	○		○		2		
			CCS-3S-501	ライフサイクルデザイン製品技術論		2	2	2	○	○	○				2		
			ENP-3S-501	ライフサイクルアセスメント	工業	2	2	1	○	○	○		○		2		
			修了に必要な専門科目の単位数												12	12	合計 24単位
			修了に必要な単位数の合計												12	18	総合計 30単位

備考 1 修了要件:

修了単位は、30単位以上とする。

共通基礎・学際科目から6単位以上、専門科目から必修12単位を含む24単位以上を修得し、

うち10単位以上は所属するコースの専門選択科目から修得すること。

また、2単位以上を所属コース以外の専門選択科目(コース共通、他コース選択、他専攻、他研究科含む)から修得し、

かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。

2 「インターンシップ」は自由単位のため、修了要件には含まれない。

3 「都市・建築設計(演習)A、B、C」については、A(B)を修得しなければB(C)を履修できない。

4 「建築インターンシップ研修A、B、C、D、E、F、G」については、左記の順に履修すること。ただし、同一セメスターでの重複履修を認める。

5 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。

(ii) 共同サステナブル工学専攻 (令和6年度入学者)

種類	コース等	ナンバリングコード	授業科目	教職課程 の教科	単位	週時 間数	開講セ メスター	必修選択区分 ・単位数		備考
								必修	選択	
共通科目	共通科目A (外国語等科目)	ENG-3L-501	実践英語A		2	2	1		2	秋田県立大学
		ENG-3L-502	英語プレゼンテーションA		2	2	2		2	秋田県立大学
		ENG-3L-503	Presentation Method		1	1	1		1	秋田大学
		ENG-3L-504	理工学英語		1	1	1		1	秋田大学
		ENG-3L-505	Talking about Science in English		1	1	1		1	秋田大学
		ENG-3L-506	Current Topics in Science and Engineering		1	1	2		1	秋田大学
	共通科目A (倫理等科目)	PHI-3L-501	科学技術と倫理※		2	2	1.3		2	秋田県立大学
		PHI-3L-502	科学技術者倫理特論		1	1	1		1	秋田大学
		GEE-3L-502	工学的失敗論A	工業	2	2	2		2	秋田県立大学
	共通科目B	SPE-3L-501	知的所有権論A		2	2	1		2	秋田県立大学
		SPE-3L-502	標準化論A	工業	2	2	2		2	秋田県立大学
		GEE-3L-501	信頼性工学A	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
		CUL-3L-501	プレゼンテーション		2	2	2		2	秋田県立大学
		SPE-3L-505	インターンシップ I		1	1	1		1	秋田大学
		SPE-3L-506	インターンシップ II		2	2	3		2	秋田大学
		SPE-3L-507	理工学特論 I		1	1	1		1	秋田大学
		SPE-3L-508	理工学特論 II		1	1	1		1	秋田大学
	専門科目	専攻共通	ENE-3S-502	サステナブル工学概論		1	1	1	1	1
ECO-3S-501			経営経済学	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
SSS-3S-502			実践経営工学	工業	2	2	1	2		秋田県立大学
BCA-3S-506			システム構築論		2	2	1		2	秋田県立大学
BUS-3S-502			地域産業論		2	2	2		2	秋田大学
EAE-3S-501			環境リスク管理技術特論	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
MEE-3S-519			スマートエネルギー情報工学		1	1	2		1	秋田大学
EEE-3S-502			通信システム特論		2	2	2		2	秋田県立大学
EXP-3S-516			地域産業プロジェクト演習		2	2	1.2	2		秋田大学・秋田県立大学
EXP-3S-517			サステナブル工学特別研究		10		1,2,3,4	10		秋田大学・秋田県立大学
エレクトロモビリティ コース (輸送・機械システム)		GEE-3S-505	航空システム工学概論		1	1	1		1	秋田大学
		GEE-3S-506	航空システム工学実践論		1	1	1		1	秋田大学
		GEE-3S-507	Aero-Space Engineering I		1	1	2		1	秋田大学
		GEE-3S-508	Aero-Space Engineering II		1	1	2		1	秋田大学
		GEE-3S-509	航空機構造力学		2	2	2		2	秋田大学
		GEE-3S-510	航空システム制御工学特論		2	2	2		2	秋田大学
			航空流体工学特論		2	2	2		2	秋田大学
		MEE-3S-514	ロボット工学特論	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
		EEE-3S-508	電気自動車システム工学		1	1	1		1	秋田大学
		MEE-3S-502	輸送機械特別研修I		1	1	1		1	秋田県立大学
MEE-3S-503		輸送機械特別研修II		1	1	1		1	秋田県立大学	
エレクトロモビリティ コース (要素技術)		EEE-3S-509	電磁エネルギー変換工学	工業	2	2	1		2	秋田大学
		GEE-3S-503	エネルギー変換工学特論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学
		EEE-3S-510	アドバンス制御工学 I	工業	1	1	2		1	秋田大学
		EEE-3S-511	アドバンス制御工学 II	工業	1	1	2		1	秋田大学
		EEE-3S-512	数値熱流体力学	工業	2	2	1		2	秋田大学
		MEE-3S-509	三次元CAD運用論	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
		MEE-3S-518	熱流体エネルギー工学特論	工業	2	2	1		2	秋田大学
		MEE-3S-511	人間機械系設計論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学
		MAE-3S-501	ナノ材料学	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
	MEE-3S-520	先端力学計測	工業	2	2	1		2	秋田大学	
	EEE-3S-513	電気機器モデル学特論 I	工業	1	1	1		1	秋田大学	
	EEE-3S-514	電気機器モデル学特論 II	工業	1	1	1		1	秋田大学	
MEE-3S-515	メカトロニクス特論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学		
MEE-3S-521	IDCAE特論		2	2	1		2	秋田大学		
MEE-3S-522	モデルベース開発実践論		1	1	2		1	秋田大学		

種類	コース等	ナンバリングコード	授業科目	教職課程 の教科	単位	週時 間数	開講セ メスター	必修選択区分 ・単位数		修了に必要な 区分別単位数
								必修	選択	
	社会環境システム コース (環境配慮設計)	ENP-3S-502	ライフサイクルデザイン工学基礎	工業	2	2	1		2	秋田大学
		ENP-3S-501	ライフサイクルアセスメント	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
		SSS-3S-503	環境型生産管理論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学
		CCS-3S-501	ライフサイクルデザイン製品技術論		2	2	2		2	秋田県立大学
			資源リサイクル論		1	1	1		1	秋田大学
		PLS-3S-501	プラズマ工学	工業	2	2	2		2	秋田県立大学
		ENP-3S-503	高温物性学		2	2	1		2	秋田大学
		ENP-3S-504	地球環境分析科学		2	2	2		2	秋田大学
		PCE-3S-501	化学プロセスデザイン学		2	2	2		2	秋田大学
		MAE-3S-503	分子計算材料科学 I		1	1	1		1	秋田大学
		MAE-3S-504	分子計算材料科学 II		1	1	1		1	秋田大学
		AIRC-3S-514	都市環境論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学
	CIE-3S-501	都市システム計画特論	工業	2		1		2	秋田大学	
	社会環境システム コース (再生可能エネルギー)	ENE-3S-503	環境・エネルギー工学	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
		ENE-3S-504	風車工学		2	2	1		2	秋田県立大学
		ENE-3S-505	地域エネルギーシステム特論	工業	2	2	2		2	秋田大学
		EEE-3S-504	固体物性工学特論	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
		ENE-3S-506	新エネルギー利用論 I		1	1	1		1	秋田大学
		ENE-3S-507	新エネルギー利用論 II		1	1	1		1	秋田大学
	修了に必要な単位数の合計								15	15

備考 1 修了要件:

必修科目15単位、選択科目15単位以上の合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び試験に合格すること。なお、選択科目の修得については次のとおりとする。

- ① 共通科目Aの外国語等科目又は専門科目の「Aero-Space Engineering I」・「Aero-Space Engineering II」から1単位以上修得すること。
 - ② 共通科目Aの倫理等科目から1単位以上修得すること。
 - ③ エレクトロモビリティコースの学生は、エレクトロモビリティコースの科目から4単位以上を修得すること。
ただし、共通科目Aの外国語等科目として「Aero-Space Engineering I」・「Aero-Space Engineering II」を修得した場合、同科目の修得単位はこの要件の対象から除く。
 - ④ 社会環境システムコースの学生は、社会環境システムコースの科目から4単位以上を修得すること。
 - ⑤ 秋田大学と秋田県立大学の開設科目からそれぞれ10単位以上を修得すること。
ただし、「地域産業プロジェクト演習」・「サステナブル工学特別研究」については、秋田県立大学の開設科目とすること。
- 2 修了要件の30単位数に、両大学院の他専攻で修得した科目を4単位まで含めることができる。
 - 3 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。

(2) 博士後期課程

(i) 総合システム科学専攻 (令和6年度入学者)

種類	ナンバリングコード	授業科目	単位	週時間数	開講セメスター	必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数		
						必修	選択			
共通基盤 科目	BUS-3L-601	ベンチャービジネス特論	2	2	1		2	選択科目 4単位以上		
	BUS-3L-602	ベンチャー企業論	2	2	1		2			
	ENG-3L-601	実践英語B	2	2	1		2			
	ENG-3L-602	英語プレゼンテーションB	2	2	2		2			
	SPE-3L-601	知的所有権論B	2	2	1		2			
	SPE-3L-602	標準化論B	2	2	2		2			
	GEE-3L-601	信頼性工学B	2	2	1		2			
	GEE-3L-602	工学的失敗論B	2	2	2		2			
	SPE-3L-603	総合システム科学特別講義	2	2	1,2,3,4,5,6		2			
	EXP-3L-601	総合システム科学特別研修	2	2	1,2,3,4,5,6		2			
修了に必要な共通基盤科目の単位数							4	合計 4単位		
学際専門 科目	GEE-3S-601	システム設計論 I	2	2	2		2	必修科目 8単位 選択科目 4単位以上		
	GEE-3S-602	システム設計論 II (持続可能社会システム)	2	2	1		2			
	EXP-3S-601	システム設計演習(防災システム)	2	2	2		2			
	EXP-3S-602	システム設計演習(高齢化社会対応システム)	2	2	2		2			
	EXP-3S-603	システム設計演習(生態系システムデザイン)	2	2	2		2			
	COS-3S-601	システムシミュレーション	2	2	2		2			
	MAE-3S-601	材料構造システム論	2	2	1		2			
	MEE-3S-601	熱流体知能化システム論	2	2	1		2			
	MEE-3S-602	生体知能化システム論	2	2	1		2			
	EEE-3S-601	電子システム論	2	2	3		2			
	BCA-3S-601	情報システム論	2	2	4		2			
	EEE-3S-602	電子デバイスシステム論	2	2	3		2			
	ARC-3S-601	建築環境計画論	2	2	1		2			
	ARC-3S-602	建築構造構成論	2	2	1		2			
	ARC-3S-603	都市環境制御論	2	2	1		2			
	SSS-3S-601	システムマネジメント論	2	2	1		2			
	GEE-3S-603	資源環境システム論	2	2	1		2			
	EXP-3S-604	博士論文特別研究	8		1,2,3,4,5,6	8				
	修了に必要な専門科目の単位数						8		4	合計 12単位
	修了に必要な単位数の合計						8		8	総合計 16単位

備考 修了要件:

修了単位は、16単位以上とする。

共通基盤科目は、選択科目4単位以上を修得。

専門科目は、必修科目8単位を含む12単位以上を修得。

ただし、大学院学則第36条ただし書きに規定する、研究科教授会において、優れた業績を上げた者と認められた者については、研究科が別に定めることができる。

別表第1

1 システム科学技術研究科

(1) 博士前期課程

(i) 総合システム工学専攻 (令和5年度入学者)

種類	コース等	ナンバリングコード	授業科目	教職課程 の教科	単位	週時 間数	開講セ メスター	身につく能力					必修選択区分 ・単位数		修了に必要な 区分別単位数
								DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	必修	選択	
共通基礎 ・学際科目		CUL-3L-501	プレゼンテーション		2	2	2	○	○	○	○			2	選択科目 6単位以上
		ENG-3L-501	実践英語A		2	2	1			○	○			2	
		ENG-3L-502	英語プレゼンテーションA		2	2	2		○	○	○			2	
		LIT-3L-501	風土・文化構造論※		2	2	1.3			○				2	
		PHI-3L-501	科学技術と倫理※		2	2	1.3			○				2	
		PSY-3L-501	感性情報と環境の心理※		2	2	2.4			○				2	
		SOC-3L-501	地域社会と家族※		2	2	2.4			○				2	
		HPE-3L-501	生体情報と運動の生理※		2	2	2.4			○				2	
		SPE-3L-501	知的所有権論A		2	2	1		○	○				2	
		SPE-3L-502	標準化論A	工業	2	2	2		○			○		2	
		GEE-3L-501	信頼性工学A	工業	2	2	1	○		○				2	
		GEE-3L-502	工学的失敗論A	工業	2	2	2			○	○			2	
		SPE-3L-503	インターンシップ		2	2	1,2,3,4				○	○			
		SPE-3L-504	現役社長の講話		1	1	2			○			○		
	SSS-3L-501	リスク管理エンジニアリング		2	2	1	○		○				2		
修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数												6	合計 6単位		
専門科目	コース共通	EXP-3S-501	総合システム工学専門セミナー		4	4	1,2	○	○	○	○	○	4	必修科目 12単位	
		EXP-3S-502	総合システム工学特別研究		8		1,2,3,4	○	○	○	○	○	8		
		EXP-3S-503	地域志向プロジェクト		2	2	1				○	○			2
		MEE-3S-501	輸送機械特論		2	2	1	○	○						2
		MEE-3S-502	輸送機械特別研修I		1	1	1,2								1
		MEE-3S-503	輸送機械特別研修II		1	1	1,2								1
		FRS-3S-501	木質資源循環論※		2	2	1,3	○					○		2
		AGE-3S-501	スマート農業		2	2	1		○				○		2
		BIN-3S-501	データ駆動型社会論	情報	2	2	1	○		○					2
	GEE-3S-501	再生可能エネルギー特論		2	2	1							2	選択科目 12単位以上	
	機械工学コース	MEE-3S-504	固体力学	工業	2	2	1	○	○						2
		MAE-3S-501	ナノ材料学	工業	2	2	1	○	○						2
		MEE-3S-505	機械力学特論	工業	2	2	2	○	○						2
		MAE-3S-502	先端材料強度特論	工業	2	2	2	○			○				2
		MEE-3S-506	熱工学特論	工業	2	2	1	○	○						2
		COS-3S-501	計算力学特論	工業	2	2	1	○	○						2
		MEE-3S-507	流体力学特論	工業	2	2	1	○	○						2
		MEE-3S-508	燃焼工学	工業	2	2	2	○	○	○					2
		MEE-3S-509	三次元CAD運用論	工業	2	2	1	○	○					2	
		MEE-3S-510	機械構成論	工業	2	2	1	○	○					2	
		COS-3S-502	高度数値シミュレーション学	情報	2	2	1	○	○					2	
		PLS-3S-501	プラズマ工学	工業	2	2	2	○	○					2	
		MEE-3S-511	人間機械系設計論	工業	2	2	2		○	○				2	
		MEE-3S-512	エネルギーシステム学特論	工業	2	2	2	○		○				2	
		MEE-3S-513	先端加工学	工業	2	2	2	○	○					2	
		知能メカトロニクス コース	PLS-3S-502	プラズマ物理学	工業	2	2	1	○	○					2
			GEE-3S-502	システム制御工学特論	情報	2	2	1	○	○			○		2
			EEE-3S-501	計測学特論	工業	2	2	1	○	○		○			2
	MAT-3S-501		数理最適化特論	情報	2	2	1	○	○					2	
	EEE-3S-502		通信システム特論	情報	2	2	2	○	○	○				2	
	GEE-3S-503		エネルギー変換工学特論	工業	2	2	2	○	○					2	
	EEE-3S-503		光機能デバイス工学	工業	2	2	1	○	○		○			2	
	EEE-3S-504		固体物性工学特論	工業	2	2	1	○	○					2	
	EEE-3S-505		半導体材料・プロセス工学	工業	2	2	2	○	○		○			2	
	EEE-3S-506		電子デバイス工学特論	工業	2	2	2	○	○			○		2	
	MEE-3S-514		ロボット工学特論	工業	2	2	1	○	○			○		2	
	GEE-3S-504		制御工学特論	工業	2	2	1	○	○					2	
MEE-3S-515	メカトロニクス特論		工業	2	2	2	○	○	○				2		
MEE-3S-516	バイオエンジニアリング特論		工業	2	2	2	○	○	○				2		
MEE-3S-517	機械知能学特論	情報	2	2	2	○	○	○				2			

(ii) 共同サステナブル工学専攻 (令和5年度入学者)

種類	コース等	ナンバリングコード	授業科目	教職課程 の教科	単位	週時 間数	開講セ メスター	必修選択区分 ・単位数		備考
								必修	選択	
共通科目	共通科目A (外国語等科目)	ENG-3L-501	実践英語A		2	2	1		2	秋田県立大学
		ENG-3L-502	英語プレゼンテーションA		2	2	2		2	秋田県立大学
		ENG-3L-503	Presentation Method		1	1	2		1	秋田大学
		ENG-3L-504	理工学英語		1	1	1		1	秋田大学
		ENG-3L-505	Talking about Science in English		1	1	1		1	秋田大学
		ENG-3L-506	Current Topics in Science and Engineering		1	1	2		1	秋田大学
	共通科目A (倫理等科目)	PHI-3L-501	科学技術と倫理※		2	2	1.3		2	秋田県立大学
		PHI-3L-502	科学技術者倫理特論		1	1	1		1	秋田大学
		GEE-3L-502	工学的失敗論A	工業	2	2	2		2	秋田県立大学
	共通科目B	SPE-3L-501	知的所有権論A		2	2	1		2	秋田県立大学
		SPE-3L-502	標準化論A	工業	2	2	2		2	秋田県立大学
		GEE-3L-501	信頼性工学A	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
		CUL-3L-501	プレゼンテーション		2	2	2		2	秋田県立大学
		SPE-3L-505	インターンシップ I		1	1	1		1	秋田大学
		SPE-3L-506	インターンシップ II		2	2	3		2	秋田大学
		SPE-3L-507	理工学特論 I		1	1	1		1	秋田大学
		SPE-3L-508	理工学特論 II		1	1	1		1	秋田大学
	専門科目	専攻共通	ENE-3S-502	サステナブル工学概論		1	1	1	1	
ECO-3S-501			経営経済学	工業	2	2	2		2	秋田県立大学
SSS-3S-502			実践経営工学	工業	2	2	1	2		秋田県立大学
BCA-3S-506			システム構築論		2	2	1		2	秋田県立大学
EXP-3S-515			地域産業活性演習	工業	2	2	2		2	秋田県立大学
BUS-3S-502			地域産業論		2	2	2		2	秋田大学
MEE-3S-518			熱流体エネルギー工学特論	工業	2	2	1		2	秋田大学
EAE-3S-501			環境リスク管理技術特論	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
MEE-3S-519			スマートエネルギー情報工学		1	1	2		1	秋田大学
EEE-3S-502			通信システム特論		2	2	2		2	秋田県立大学
EXP-3S-516			地域産業プロジェクト演習		2	2	1.2	2		秋田大学・秋田県立大学
EXP-3S-517			サステナブル工学特別研究		10		1,2,3,4	10		秋田大学・秋田県立大学
エレクトロモビリティ コース (輸送・機械システム)			GEE-3S-505	航空システム工学概論		1	1	1		1
		GEE-3S-506	航空システム工学実践論		1	1	1		1	秋田大学
		GEE-3S-507	Aero-Space Engineering I		1	1	1		1	秋田大学
		GEE-3S-508	Aero-Space Engineering II		1	1	1		1	秋田大学
		GEE-3S-509	航空機構造力学		2	2	1		2	秋田大学
		GEE-3S-510	航空システム制御工学特論		2	2	2		2	秋田大学
		MEE-3S-514	ロボット工学特論	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
		EEE-3S-508	電気自動車システム工学		1	1	1		1	秋田大学
		MEE-3S-502	輸送機械特別研修I		1	1	1		1	秋田県立大学
		MEE-3S-503	輸送機械特別研修II		1	1	1		1	秋田県立大学
エレクトロモビリティ コース (要素技術)		EEE-3S-509	電磁エネルギー変換工学	工業	2	2	1		2	秋田大学
		GEE-3S-503	エネルギー変換工学特論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学
		EEE-3S-510	アドバンス制御工学 I	工業	1	1	2		1	秋田大学
		EEE-3S-511	アドバンス制御工学 II	工業	1	1	2		1	秋田大学
		EEE-3S-512	数値熱流体力学	工業	2	2	1		2	秋田大学
		MEE-3S-509	三次元CAD運用論	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
		MEE-3S-511	人間機械系設計論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学
		MAE-3S-501	ナノ材料学	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
		MEE-3S-520	先端力学計測	工業	2	2	1		2	秋田大学
		EEE-3S-513	電気機器モデル学特論 I	工業	1	1	1		1	秋田大学
EEE-3S-514		電気機器モデル学特論 II	工業	1	1	1		1	秋田大学	
MEE-3S-515	メカトロニクス特論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学		
MEE-3S-521	1DCAE特論		2	2	1		2	秋田大学		
MEE-3S-522	モデルベース開発実践論		1	1	2		1	秋田大学		

社会環境システム コース (環境配慮設計)	ENP-3S-502	ライフサイクルデザイン工学基礎	工業	2	2	1		2	秋田大学	
	ENE-3S-501	ライフサイクルプランニング基礎		2	2	1		2	秋田県立大学	
	ENP-3S-501	ライフサイクルアセスメント	工業	2	2	1		2	秋田県立大学	
	SSS-3S-503	環境型生産管理論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学	
	CCS-3S-501	ライフサイクルデザイン製品技術論		2	2	2		2	秋田県立大学	
	ENP-3S-502	金属資源リサイクル		1	1	3		1	秋田大学	
	PLS-3S-501	プラズマ工学	工業	2	2	2		2	秋田県立大学	
	ENP-3S-503	高温物性学		2	2	1		2	秋田大学	
	ENP-3S-504	地球環境分析科学		2	2	2		2	秋田大学	
	PCE-3S-501	化学プロセスデザイン学		2	2	2		2	秋田大学	
	MAE-3S-503	分子計算材料学 I		1	1	1		1	秋田大学	
	MAE-3S-504	分子計算材料学 II		1	1	1		1	秋田大学	
	HIS-3S-506	音環境工学	工業	2	2	2		2	秋田県立大学	
	ARC-3S-514	都市環境論	工業	2	2	2		2	秋田県立大学	
	CIE-3S-501	都市システム計画特論	工業	2		1		2	秋田大学	
	社会環境システム コース (再生可能エネルギー)	ENE-3S-503	環境・エネルギー工学	工業	2	2	1		2	秋田県立大学
ENE-3S-504		風車工学		2	2	1		2	秋田県立大学	
ENE-3S-505		地域エネルギーシステム特論	工業	2	2	2		2	秋田大学	
EEE-3S-504		固体物性工学特論	工業	2	2	1		2	秋田県立大学	
ENE-3S-506		新エネルギー利用論 I		1	1	1		1	秋田大学	
ENE-3S-507		新エネルギー利用論 II		1	1	1		1	秋田大学	
修了に必要な単位数の合計								15	15	総合計 30単位

備考 1 修了要件:

必修科目15単位、選択科目15単位以上の合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び試験に合格すること。なお、選択科目の修得については次のとおりとする。

- ①共通科目Aの外国語等科目又は専門科目の「Aero-Space Engineering I」・「Aero-Space Engineering II」から1単位以上修得すること。
 - ②共通科目Aの倫理等科目から1単位以上修得すること。
 - ③エレクトロモビリティコースの学生は、輸送・機械システムから4単位以上、要素技術の科目から4単位以上をそれぞれ修得すること。
 - ④社会環境システムコースの学生は、環境配慮設計から4単位以上、再生可能エネルギーから4単位以上をそれぞれ修得すること。
 - ⑤秋田大学と秋田県立大学の開設科目からそれぞれ10単位以上を修得すること。
- 2 修了要件の30単位に、両大学院の他専攻で修得した科目を2単位まで含めることができる
 - 3 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。

(2) 博士後期課程

(i) 総合システム科学専攻 (令和5年度入学者)

種類	ナンバリングコード	授業科目	単位	週時間数	開講セメスター	必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数		
						必修	選択			
共通基盤 科目	BUS-3L-601	ベンチャービジネス特論	2	2	1		2	選択科目 4単位以上		
	BUS-3L-602	ベンチャー企業論	2	2	1		2			
	ENG-3L-601	実践英語B	2	2	1		2			
	ENG-3L-602	英語プレゼンテーションB	2	2	2		2			
	SPE-3L-601	知的所有権論B	2	2	1		2			
	SPE-3L-602	標準化論B	2	2	2		2			
	GEE-3L-601	信頼性工学B	2	2	1		2			
	GEE-3L-602	工学的失敗論B	2	2	2		2			
	SPE-3L-603	総合システム科学特別講義	2	2	1,2,3,4,5,6		2			
	EXP-3L-601	総合システム科学特別研修	2	2	1,2,3,4,5,6		2			
修了に必要な共通基盤科目の単位数							4	合計 4単位		
学際専門 科目	GEE-3S-601	システム設計論 I	2	2	2		2	必修科目 8単位 選択科目 4単位以上		
	GEE-3S-602	システム設計論 II (持続可能社会システム)	2	2	1		2			
	EXP-3S-601	システム設計演習(防災システム)	2	2	2		2			
	EXP-3S-602	システム設計演習(高齢化社会対応システム)	2	2	2		2			
	EXP-3S-603	システム設計演習(生態系システムデザイン)	2	2	2		2			
	COS-3S-601	システムシミュレーション	2	2	2		2			
	MAE-3S-601	材料構造システム論	2	2	1		2			
	MEE-3S-601	熱流体知能化システム論	2	2	1		2			
	MEE-3S-602	生体知能化システム論	2	2	1		2			
	EEE-3S-601	電子システム論	2	2	3		2			
	BCA-3S-601	情報システム論	2	2	4		2			
	EEE-3S-602	電子デバイスシステム論	2	2	3		2			
	ARC-3S-601	建築環境計画論	2	2	1		2			
	ARC-3S-602	建築構造構成論	2	2	1		2			
	ARC-3S-603	都市環境制御論	2	2	1		2			
	SSS-3S-601	システムマネジメント論	2	2	1		2			
	GEE-3S-603	資源環境システム論	2	2	1		2			
	EXP-3S-604	博士論文特別研究	8		1,2,3,4,5,6		8			
	修了に必要な専門科目の単位数						8		4	合計 12単位
	修了に必要な単位数の合計						8		8	総合計 16単位

備考 修了要件;

修了単位は、16単位以上とする。

共通基盤科目は、選択科目4単位以上を修得。

専門科目は、必修科目8単位を含む12単位以上を修得。

ただし、大学院学則第36条ただし書きに規定する、研究科教授会において、優れた業績を上げた者と認められた者については、研究科が別に定めることができる。

別表第1

1 システム科学技術研究科

(1) 博士前期課程

(i) 総合システム工学専攻 (令和4年度以降入学者)

種類	系名等	授業科目	教職課程 の教科	単位	開講年次(セメスター)・週時間数				必修選択区分 ・単位数		修了に必要な 区分別単位数
					1年次		2年次		必修	選択	
					1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
共通基礎 ・学際科目		プレゼンテーション		2		2				2	選択科目 6単位以上
		実践英語A		2	2					2	
		英語プレゼンテーションA		2		2				2	
		風土・文化構造論※		2	2					2	
		科学技術と倫理※		2	2					2	
		感性情報と環境の心理※		2			2			2	
		地域社会と家族※		2				2		2	
		生体情報と運動の生理※		2			2			2	
		知的所有権論A		2	2					2	
		標準化論A	工業	2		2				2	
		信頼性工学A	工業	2	2					2	
		工学的失敗論A	工業	2		2				2	
		インターンシップ		2	2						
		現役社長の講話		1		1				1	
		リスク管理エンジニアリング		2	2					2	
	修了に必要な共通基礎・学際科目の単位数									6	合計 6単位
専門科目	コース共通	総合システム工学専門セミナー		4	4	4			4		必修科目 12単位
		総合システム工学特別研究		8					8		
		地域志向プロジェクト		2	2					2	
		輸送機械特論		2	2					2	
		輸送機械特別研修Ⅰ		1	1	1				1	
		輸送機械特別研修Ⅱ		1	1	1				1	
		木質資源循環論		2	2					2	
		スマート農業		2	2					2	
		データ駆動型社会論	情報	2	2					2	
		再生可能エネルギー特論		2	2					2	
	機械工学コース	固体力学	工業	2	2					2	選択科目 12単位以上
		ナノ材料学	工業	2	2					2	
		機械力学特論	工業	2		2				2	
		先端材料強度特論	工業	2		2				2	
		熱工学特論	工業	2	2					2	
		計算力学特論	工業	2	2					2	
		流体力学特論	工業	2	2					2	
		燃焼工学	工業	2		2				2	
		三次元CAD運用論	工業	2	2					2	
		機械構成論	工業	2	2					2	
		高度数値シミュレーション学	情報	2	2					2	
		プラズマ工学	工業	2		2				2	
		人間機械系設計論	工業	2		2				2	
		エネルギーシステム学特論	工業	2		2				2	
		先端加工学	工業	2		2				2	
	知能メカトロニクス コース	プラズマ物理学	工業	2	2					2	
		システム制御工学特論	情報	2	2					2	
		計測学特論	工業	2	2					2	
		数理最適化特論	情報	2	2					2	
		通信システム特論	情報	2		2				2	
		エネルギー変換工学特論	工業	2		2				2	
		光機能デバイス工学	工業	2	2					2	
		固体物性工学特論	工業	2	2					2	
		半導体材料・プロセス工学	工業	2		2				2	
		電子デバイス工学特論	工業	2		2				2	
		ロボット工学特論	工業	2	2					2	
		制御工学特論	工業	2	2					2	
		メカトロニクス特論	工業	2		2				2	
		バイオエンジニアリング特論	工業	2		2				2	
		機械知能学特論	情報	2		2				2	

専門科目	情報工学コース	画像情報学特論	情報	2	2				2	
		情報数理論	情報	2	2				2	
		自然言語処理	情報	2	2				2	
		情報ネットワーク特論	情報	2		2			2	
		数値解析学特論	情報	2		2			2	
		デジタル信号処理特論	情報	2		2			2	
		音響情報工学	情報	2	2				2	
		音信号処理特論	情報	2		2			2	
		パターン認識特論	情報	2		2			2	
		統計的信号処理	情報	2	2				2	
	建築学コース	建築塑性論	工業	2	2				2	
		建築構造解析論	工業	2	2				2	
		建築荷重論	工業	2	2				2	
		建築構造設計論	工業	2		2			2	
		建築基礎構造論	工業	2		2			2	
		建築振動論	工業	2		2			2	
		建築材料工学	工業	2	2				2	
		木質構造設計実習		2	2				2	
		木質構造設計論	工業	2		2			2	
		木質構造実習		2	2				2	
		視環境・色彩計画学	工業	2	2				2	
		建築設備設計論		2	2				2	
		建築環境設計論	工業	2		2			2	
		都市環境論	工業	2		2			2	
		都市計画学	工業	2	2				2	
		都市防災学	工業	2	2				2	
		都市・建築設計論	工業	2		2			2	
		都市・建築史論		2	2				2	
		都市・建築設計(演習)A		2	2	2	2	2	2	
		都市・建築設計(演習)B		2		2	2	2	2	
		都市・建築設計(演習)C		2			2	2	2	
		建築インターンシップ研修A	2	2	2	2	2	2	2	
		建築インターンシップ研修B	2	2	2	2	2	2	2	
		建築インターンシップ研修C	2	2	2	2	2	2	2	
		建築インターンシップ研修D	2	2	2	2	2	2	2	
		建築インターンシップ研修E	2	2	2	2	2	2	2	
		建築インターンシップ研修F	2	2	2	2	2	2	2	
		建築インターンシップ研修G	2	2	2	2	2	2	2	
	建築プロジェクト実習	2	2	2	2	2	2	2		
	経営システム工学コース	会計システム論	工業	2		2			2	
		応用情報処理特論	工業	2		2			2	
		経営情報システム特論	工業	2	2				2	
		応用確率統計特論	工業	2	2				2	
		経営数理解析特論	工業	2	2				2	
		実践経営工学	工業	2	2				2	
経営経済学		工業	2		2			2		
システム構築論		情報	2	2				2		
環境型生産管理論		工業	2		2			2		
環境リスク管理技術特論		工業	2	2				2		
ライフサイクルデザイン製品技術論			2		2			2		
ライフサイクルアセスメント		工業	2	2				2		
分析化学特論		工業	2	2				2		
地域産業活性演習		工業	2		2			2		
修了に必要な専門科目の単位数								12	12	合計 24単位
修了に必要な単位数の合計								12	18	総合計 30単位

備考 1 修了要件:

修了単位は、30単位以上とする。

共通基礎・学際科目から6単位以上、専門科目から必修12単位を含む24単位以上を修得し、

うち10単位以上は所属するコースの専門選択科目から修得すること。

また、2単位以上を所属コース以外の専門選択科目(コース共通、他コース選択、他専攻、他研究科含む)から修得し、

かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。

2 「インターンシップ」は自由単位のため、修了要件には含まれない。

3 「都市・建築設計(演習)A、B、C」については、A(B)を修得しなければB(C)を履修できない。

4 「建築インターンシップ研修A、B、C、D、E、F、G」については、左記の順に履修すること。ただし、同一セメスターでの重複履修を認める。

5 授業科目中のうち「※」が付されている科目は、隔年開講を示す。

(2) 博士後期課程

(i) 総合システム科学専攻 (令和4年度入学生)

種類	授業科目	単位	開講年次(セメスター)・週時間数						必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数
			1年次		2年次		3年次		必修	選択	
			1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ			
共通基盤 科目	ベンチャービジネス特論	2	2							2	選択科目 4単位以上
	ベンチャー企業論	2	2							2	
	実践英語B	2	2							2	
	英語プレゼンテーションB	2		2						2	
	知的所有権論B	2	2							2	
	標準化論B	2		2						2	
	信頼性工学B	2	2							2	
	工学的失敗論B	2		2						2	
	総合システム科学特別講義	2	2	2	2	2	2	2		2	
	総合システム科学特別研修	2	2	2	2	2	2	2		2	
修了に必要な共通基盤科目の単位数									4	合計 4単位	
学際専門 科目	システム設計論 I	2		2						2	必修科目 8単位 選択科目 4単位以上
	システム設計論 II (持続可能社会システム)	2	2							2	
	システム設計演習(防災システム)	2		2						2	
	システム設計演習(高齢化社会対応システム)	2		2						2	
	システム設計演習(生態系システムデザイン)	2		2						2	
	システムシミュレーション	2		2						2	
	材料構造システム論	2	2							2	
	熱流体知能化システム論	2	2							2	
	生体知能化システム論	2	2							2	
	電子システム論	2			2					2	
	情報システム論	2				2				2	
	電子デバイスシステム論	2			2					2	
	建築環境計画論	2	2							2	
	建築構造構成論	2	2							2	
	都市環境制御論	2	2							2	
	システムマネジメント論	2	2							2	
	資源環境システム論	2	2							2	
	博士論文特別研究	8								8	
修了に必要な専門科目の単位数									8	4	合計 12単位
修了に必要な単位数の合計									8	8	総合計 16単位

備考

修了要件:

修了単位は、16単位以上とする。

共通基盤科目は、選択科目4単位以上を修得。

専門科目は、必修科目8単位を含む12単位以上を修得。

ただし、大学院学則第36条ただし書きに規定する、研究科教授会において、優れた業績を上げた者と認められた者については、研究科が別に定めることができる。

(2) 博士後期課程

(i) 総合システム科学専攻 (令和3年度入学生)

種類	授業科目	単位	開講年次(セメスター)・週時間数						必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数
			1年次		2年次		3年次		必修	選択	
			1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ			
共通基盤 科目	ベンチャービジネス特論	2	2							2	選択科目 4単位以上
	ベンチャー企業論	2	2							2	
	実践英語B	2	2							2	
	英語プレゼンテーションB	2		2						2	
	知的所有権論B	2	2							2	
	標準化論B	2		2						2	
	信頼性工学B	2	2							2	
	失敗工学B	2		2						2	
	総合システム科学特別講義	2	2	2	2	2	2	2		2	
	総合システム科学特別研修	2	2	2	2	2	2	2		2	
修了に必要な共通基盤科目の単位数									4	4	合計 4単位
学際専門 科目	システム設計論 I	2		2						2	必修科目 8単位 選択科目 4単位以上
	システム設計論 II(持続可能社会システム)	2	2							2	
	システム設計演習(防災システム)	2		2						2	
	システム設計演習(高齢化社会対応システム)	2		2						2	
	システム設計演習(生態系システムデザイン)	2		2						2	
	システムシミュレーション	2		2						2	
	材料構造システム論	2	2							2	
	熱流体知能化システム論	2	2							2	
	生体知能化システム論	2	2							2	
	電子システム論	2			2					2	
	情報システム論	2				2				2	
	電子デバイスシステム論	2			2					2	
	建築環境計画論	2	2							2	
	建築構造構成論	2	2							2	
	都市環境制御論	2	2							2	
	システムマネジメント論	2	2							2	
	資源環境システム論	2	2							2	
博士論文特別研究	8								8		
修了に必要な専門科目の単位数									8	4	合計 12単位
修了に必要な単位数の合計									8	8	総合計 16単位

備考

修了要件:

修了単位は、16単位以上とする。

共通基盤科目は、選択科目4単位以上を修得。

専門科目は、必修科目8単位を含む12単位以上を修得。

ただし、大学院学則第36条ただし書きに規定する、研究科教授会において、優れた業績を上げた者と認められた者については、研究科が別に定めることができる。

(2) 博士後期課程

(i) 総合システム科学専攻 (令和2年度入学者)

種類	授業科目	単位	開講年次(セメスター)・週時間数						必修選択区分 ・単位数		修了に必要な 区分別単位数		
			1年次		2年次		3年次		必修	選択			
			1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ					
共通基盤 科目	ベンチャービジネス特論	2	2							2	選択科目 4単位以上		
	ベンチャー企業論	2	2							2			
	実践英語B	2	2							2			
	英語プレゼンテーションB	2		2						2			
	知的所有権論B	2	2							2			
	標準化論B	2		2						2			
	信頼性工学B	2	2							2			
	失敗工学B	2		2						2			
	総合システム科学特別講義	2	2	2	2	2	2	2		2			
	総合システム科学特別研修	2	2	2	2	2	2	2		2			
修了に必要な共通基盤科目の単位数									4	合計 4単位			
学際専門 科目	システム設計論 I	2		2						2	必修科目 8単位 選択科目 4単位以上		
	システム設計論 II (持続可能社会システム)	2	2							2			
	システム設計演習(防災システム)	2		2						2			
	システム設計演習(高齢化社会対応システム)	2		2						2			
	システム設計演習(生態系システムデザイン)	2		2						2			
	システムシミュレーション	2		2						2			
	材料構造システム論	2	2							2			
	熱流体知能化システム論	2	2							2			
	生体知能化システム論	2	2							2			
	電子システム論	2			2					2			
	情報システム論	2				2				2			
	電子デバイスシステム論	2			2					2			
	建築環境計画論	2	2							2			
	建築構造構成論	2	2							2			
	都市環境制御論	2	2							2			
	システムマネジメント論	2	2							2			
	資源環境システム論	2	2							2			
	博士論文特別研究	8							8				
	修了に必要な専門科目の単位数									8		4	合計 12単位
	修了に必要な単位数の合計									8		8	総合計 16単位

備考 修了要件:

修了単位は、16単位以上とする。

共通基盤科目は、選択科目4単位以上を修得。

専門科目は、必修科目8単位を含む12単位以上を修得。

ただし、大学院学則第36条ただし書きに規定する、研究科教授会において、優れた業績を上げた者と認められた者については、研究科が別に定めることができる。

(2) 博士後期課程

(i) 総合システム科学専攻 (平成31年度入学者)

種類	授業科目	単位	開講年次(セメスター)・週時間数						必修選択区分・単位数		修了に必要な 区分別単位数
			1年次		2年次		3年次		必修	選択	
			1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ			
共通基盤科目	ベンチャービジネス特論	2	2							2	選択科目 4単位以上
	ベンチャー企業論	2	2							2	
	実践英語B	2	2							2	
	英語プレゼンテーションB	2		2						2	
	知的所有権論B	2	2							2	
	標準化論B	2		2						2	
	信頼性工学B	2	2							2	
	失敗工学B	2		2						2	
	総合システム科学特別講義	2	2	2	2	2	2	2		2	
	総合システム科学特別研修	2	2	2	2	2	2	2		2	
修了に必要な共通基盤科目の単位数										4	合計 4単位
学際専門科目	システム設計論 I	2		2						2	必修科目 8単位 選択科目 4単位以上
	システム設計論 II (持続可能社会システム)	2	2							2	
	システム設計演習 (防災システム)	2		2						2	
	システム設計演習 (高齢化社会対応システム)	2		2						2	
	システム設計演習 (生態系システムデザイン)	2		2						2	
	システムシミュレーション	2		2						2	
	材料構造システム論	2	2							2	
	熱流体知能化システム論	2	2							2	
	生体知能化システム論	2	2							2	
	電子システム論	2			2					2	
	情報システム論	2				2				2	
	電子デバイスシステム論	2			2					2	
	建築環境計画論	2	2							2	
	建築構造構成論	2	2							2	
	都市環境制御論	2	2							2	
	システムマネジメント論	2	2							2	
	資源環境システム論	2	2							2	
	博士論文特別研究	8								8	
	修了に必要な専門科目の単位数									8	
修了に必要な単位数の合計									8	8	総合計 16単位

備考

修了要件;

修了単位は、16単位以上とする。

共通基盤科目は、選択科目4単位以上を修得。

専門科目は、必修科目8単位を含む12単位以上を修得。

ただし、大学院学則第36条ただし書きに規定する、研究科教授会において、優れた業績を上げた者と認められた者については、研究科が別に定めることができる。